（様式４）

◆　武　一美

＜所属・職名＞

認定ＮＰＯ法人多文化共生教育ネットワークかながわ・理事長

＜略歴＞

・一般企業勤務後、家族で中東（ドバイ）にて生活。帰国後地域日本語・学習支援教室ボランティアとして活動、同時に民間日本語学校にて日本語教師として働く。
・早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了。同日本語教育研究センターにて常勤インストラクターとして留学生の日本語教育に従事。
・神奈川県立高校における「多文化教育コーディネーター派遣事業」代表、及び多文化教育コーディネーターとして活動（所属 NPO と神奈川県教育委員会の協働事業）。
・現在は、所属 NPO 理事長、及び早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師。

＜これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など＞

留学生への活動型日本語教育及び実践研究を行う一方地域における市民活動（ボランティア）として外国人児童生徒等教育に関わってきました。所属 NPO 発足後、県立高校の多文化教育コーディネーターとして NPO の活動に参加しました。教育委員会、高校、NPO 等地域の連携で外国人高校生等の入学から卒業までの総合的な支援構築を考えています。また、中学・高校生年代外国人児童生徒の日本語教材及び教科（社会科）副教材の開発に携わっています（共著）。

●所属 NPO における神奈川県立高校及び高校生への支援活動

・2008 年より、神奈川県立高校における多文化教育コーディネーター派遣事業（神奈川県教育委員会との協働事業）に多文化教育コーディネーターとして活動を始めました。その後、複数の高校でコーディネーターとして活動し、同時に事業代表として携わってきました。高校内での生徒支援計画への協力、教員研修の計画と実施、教員研修の講師、コーディネーター研修の計画と実施などを行ってきました。
・「外国につながる高校生のための進路相談会」「外国につながる生徒の在留資格勉強会（教員向け・生徒向け）」の計画と実施、「新入生用日本語プレイスメントテスト」の開発と実施に携わってきました。
・2020 年より、川崎市を中心とする県立高校（31 校）生徒への「土曜日本語学習教室」「プレスクール」（神奈川県教育委員会委託事業）に携わっています。
・2020 年より、神奈川県の日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援に関わる調査」（神奈川県教育委員会、認定 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ、公益財団法人かながわ国際交流財団、三者の共同実施）に携わっています。

●中学生・高校生用教材の共同開発

・中学生（高校生）用総合日本語教科書（『中学生のにほんご』スリーエーネットワーク）の開発
・中学校教科（日本史・公民）副教材の開発（HP で公開中）

●委員・講師

日本語教育学会「子どものための日本語教育研修―子ども初任コース・講師育成コース」（文化庁委託事業）の教材委員及び講師

＜対応可能学校種＞　高校

＜遠隔での指導助言＞　※いずれかの□にチェックを記入してください。

☑ 対応可　　□ 対応不可

＜その他（国等の委員歴等）＞　なし

＜関連ＵＲＬ＞

・認定 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ　https://me-net.or.jp/
・神奈川県の日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援に関わる調査
https://www.kifjp.org/shuppan/houkoku
・母語併記教材（日本史）　https://nihonshigaikokujin.wixsite.com/nihonshigaikokujin
・母語併記教材（公民）　https://nihonshigaikokujin.wixsite.com/koomingaikokujin

（様式４）

＜講師として担当可能な内容＞

別紙「講師として担当可能な内容（モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応）」のＡ～Ｎの書く欄に、◎または〇を付けてください。

※別紙に〇を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※　本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。